



富士宮市立大宮小学校 学校だより

学校教育目標 いい笑顔 輝く瞳 光る汗

令和3年 3月号

～幸せになる方法とは？～

今日から3月。今年度もあと15日となりました。先月から、委員会活動も6年生から4・5年生にバトンタッチされ、自分の仕事に責任を持って頑張っている姿に、「これなら大宮小も大丈夫」としっかりと仕事が引き継がれていることを実感しています。6年生も、下級生の姿を見守ってくれています。2月24日から「6年生を送る週間」が始まっています。6年生の教室に通じる階段には、全校の皆さんからのメッセージが掲示されています。3日には、「6年生ありがとうの会」が行われます。6年生への感謝の気持ちを込めて、楽しい思い出を作してほしいと思います。

今日は「幸せ」についてお話しします。人間には、幸せな人と、そうでない人がいます。みんな幸せになりたいはずなのに、どうして差が出るのでしょうか。こんな話があります。

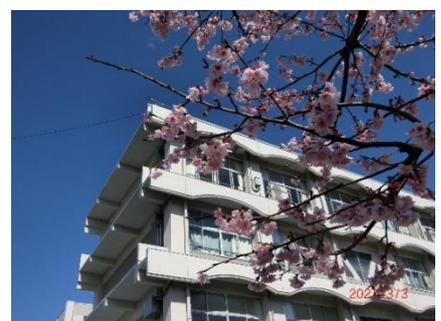
二人の靴屋さんが外国に靴を売りに行きました。外国に着いてみると、その国の人は誰も靴を履いていません。(みなさんはそんなときどう思いますか)靴屋の一人は、「この国は誰も靴を履いていないから、この国では靴が売れない。残念だなー。」と。もう一人の靴屋さんは、「この国の人は誰も靴を履いていないから、たくさん靴が売れる。ラッキーだなー。」といいました。まだ、一足も靴を売っていないうちから、「残念だなー」という不幸な人と、「ラッキーだなー」と言う幸せな人に分かれてしまいました。

あれは嫌だ、これは嫌だ、あいつが悪いと文句をたくさん言っている人は、毎日がつまらないことばかりです。つまらないことばかりの人を不幸な人と言います。反対にあれも良い、これも良い、この人のおかげだと良いことをたくさん見付けられる人は、毎日が楽しいことばかりです。楽しいことばかりの人を幸せな人と言います。つまり、幸せな人になる方法は、自分の周りの良いところをたくさん見付けられる人が幸せな人なのです。

今年1年、毎日どうでしたか。良いところをたくさん思い出してみましょ。そうすれば、幸せな1年だったと言えるのです。4月から学年が変わります。「新しい友達ができるか心配」と思うのではなく、「新しい友達が増えるから楽しみ」と、「勉強が難しくなるから心配」ではなく「もっとたくさんを知りことができるから勉強が楽しみ」という、心の使い方をする人が幸せになるのだと思います。幸せになるかどうかは、自分が決めるのです。残りの3学期、幸せになる方法を少し意識して、気持ちよく修了式を迎えられるように頑張っていましょ。

【令和2年度卒業式・令和3年度入学式について】

コロナウイルス感染防止のため、児童とその保護者の皆様、来賓代表としてPTA会長様のみの参加となります。御了承ください。



3月3日の校庭の寒桜

3 / 3 (水) 6年生ありがとうの会 ～大宮ミニオリンピック～



1・6年 玉入れ



2・6年 大玉転がし



3・6年 大宮ダービー



4・6年 台風の日



5・6年 卒業じゃんけんの壁



6年生代表の言葉

ありがとうの会の後、六年生全員から全校に向けてメッセージがありました。

詩人 谷川俊太郎の「生きる」の詩を、自分たちの思いを込めた言葉に置きかえて、六年生のメッセージと共に群読してくれました。(テレビ放送)
その一部を紹介します。

(前略)

「生きているということ
いま生きているということ」

あいさつで心がほかほかになること
富士山と一緒に学校に登下校すること
図書館にうきうきしながら行くこと

意見を出し合い、学び合うこと
(中略)

大宮小で過ごした小学校生活で私たちは大きく成長することができました。

これから卒業しても、ここまでの成長を支えてくれたたくさんの人たちへ感謝の気持ちを胸にこれからも頑張っていきます。

みなさん、本当にありがとうございました。
中学校でもがんばります。」

一く五年生の思いと六年生の思いがつながり合った、とてもすてきな会になりました。